

1. 実施期間：令和8年5月26日（火）～6月25日（木）
2. 実施方法：①周知方法 新聞記事への掲載、下諏訪町ホームページへの掲載、あざみ号車内での資料配布、住民環境課窓口での閲覧
②募集方法 住民環境課宛に郵送、FAX、電子メール
3. 募集結果：意見・要望提出者 計16名
4. 意見に対する町の考え方と対応について（受付日順）
※いただいたご意見は、個人が特定されるおそれのある内容に配慮し、趣旨を損なわない範囲で整理して掲載しています。

番号	いただいたご意見等の要旨	下諏訪町の考え方・対応
1	【萩倉・星が丘線】 萩倉・星が丘線の減便は、通勤や生活に大きな影響を与える。土日祝日の第1便の運行再開は喜ばしいが、全体の便数が減少するため、生活が不便になる。 最終便の駅出発時刻を19時20分に駅に到着する特急あずさから乗り継げるようにしてほしい。 樋橋からイオンスタイル諏訪に向かう場合、帰りの便は他の路線を乗り継がないと帰ることができない。 第1便を除くマイクロバスからワゴンバスへの変更は、利用者数からみて仕方ないかもしれないが、残念である。	ご意見を踏まえ、萩倉・星が丘線については、パブリックコメント前の改正案を見直し、マイクロバスで全10便を運行することとしました。 現行ダイヤと比較すると1便減となりますが、パブリックコメント前の改正案からは便数を増やし、通勤や生活利用に配慮した運行となるよう見直しました。 なお、第1便については、従来どおり土日祝日は運休となります。 最終便については時刻を再検討しましたが、19時20分に下諏訪駅へ到着する特急あずさからの接続については、運行体制上、今回の改正では対応を見送ることとしました。 樋橋方面からイオンスタイル諏訪方面への移動については、利用する便によって乗り継ぎが必要となる場合がありますので、分かりやすい案内に努めてまいります。
2	あざみ号には、高齢者や車を利用できない方の外出を支える役割、学生の通学を支える役割、観光客の町内回遊を促す役割がある。 路線ごとの平均乗車人数だけでなく、利用目的、時間帯別、年齢層別、停留所別など、詳細な利用実態を示してほしい。 町民向けには、買い物や散策などのモデルコースを紹介し、あざみ号の利用促進を図ってほしい。 観光客向けには、車内での音声案内や、バス停でのQRコードによる観光情報提供を行ってほしい。 GTFS、GPS、GISなどを活用し、分かりやすい運行情報の提供を進めてほしい。 また、いずみ湖方面についても、少ない便数でも活用できる形で運行を検討してほしい。 あざみ号を、町民、学生、観光客にとって使いやすい、下諏訪町の大切な公共交通として発展させてほしい。	あざみ号は、高齢者や車を利用できない方、学生、観光客など、さまざまな方の移動を支える公共交通であると認識しています。 利用実態につきましては、町ホームページに掲載している「下諏訪町地域公共交通計画」において、調査結果を整理しています。今後も必要に応じて、利用目的や時間帯、停留所ごとの利用状況などを確認しながら、運行内容の検討に活用してまいります。 町民向けの利用促進につきましては、ダイヤ改正の周知とあわせて、買い物や散策などで利用しやすいモデルコースの紹介を検討してまいります。また、観光客向けの情報発信については、観光担当部署と連携し、町内回遊につながる情報提供に努めてまいります。 運行情報につきましては、現在、GTFS データを活用した Google マップでの経路検索のほか、町情報アプリ「LifeVision（しもすわインフォ）」や町ホームページにおいて、路線図や時刻表を掲載しています。また、令和8年4月に導入したキャッシュレス決済アプリ「TicketQR」では、アプリ上でバスの現在位置を確認することができます。 いずみ湖方面につきましては、想定される利用者数に対して運行距離が長くなることから、需要や運行効率を確認しながら、今後の運行のあり方を検討してまいります。引き続き、町民、学生、観光客の皆さまにとって利用しやすく、持続可能な公共交通となるよう努めてまいります。
3	【高木・高浜線、赤砂・東山田線】 今回の改正により、西友での買い物が難しくなるため、イオンスタイル諏訪を利用することとなる。 スーパーでの買い物は、1時間程度で済ませたい。 時刻表案では、まちなか線と高木・高浜線がほぼ同時刻となるため、乗り継ぎの選択肢はあるものの、イオンスタイル諏訪で2時間程度待つ時間帯がある。 今回のパブリックコメントでの修正が難しいとしても、次回以降のダイヤ改正では、イオンスタイル諏訪での滞在時間が長くなりすぎないように考慮してほしい。	ご意見を踏まえ、イオンスタイル諏訪での買い物利用に配慮し、まちなか線及び高木・高浜線の時刻を見直しました。 一方で、限られた車両・運転手で複数路線を運行しているため、すべての時間帯で買い物時間を1時間程度に設定することは困難です。 今後も利用状況を確認しながら、買い物利用に配慮したダイヤを検討してまいります。
4	【萩倉・星が丘線】 バスが唯一の交通手段であり、日常生活に欠かせない。 ベビーカーや大きな荷物を持って乗降することがあるため、広いマイクロバスの方が使いやすい。 萩倉地区・星が丘地区は、高齢者や小学生の利用も多く、買い物利用も多い。 ワゴンバスは、子ども連れや荷物の多い利用者には乗降しづらいため、現在と同じマイクロバスでの運行を強く希望する。 利用者が便数減少により集中すると考えられるため、ワゴンバスよりマイクロバスの方が適している。 現行のダイヤに近い時間帯で運行してほしい。 星が丘先回りが少ないと不便であるため、増便してほしい。	萩倉・星が丘線については、ご意見を踏まえ、パブリックコメント前の改正案を見直し、マイクロバスで運行することとしました。 また、通勤、通学、買い物、帰宅時間帯に配慮し、現行ダイヤに近い時間帯でも利用できるよう見直しました。 星が丘先回りについても、利用しやすい便数となるよう運行内容を見直しました。

5	【萩倉・星が丘線】 現行ダイヤは土日祝日に運休となる便があり、利用できないことがある。 萩倉のブルーベリー畑へ行くのにちょうどよい時間帯の便がないため、バス利用を断念している。 このようなダイヤでは利便性が悪く、利用を促す意図がないように感じる。 まちなか線だけを残し、他の路線はデマンドバスにした方が利便性が高いのではないか。 また、別の市町村でベビーカーを使いながらバスを利用した際、低床バスでなかったため降車時に転倒した経験があり、同様のことが起きないか心配である。 マイクロバスからワゴンバスへの変更は、ユニバーサルデザインの観点からも疑問である。	萩倉・星が丘線については、ご意見を踏まえ、パブリックコメント前の改正案を見直し、マイクロバスで運行することとしました。 なお、土日祝日に運休としていた便については、従来どおり運休とします。 ブルーベリー畑などへの余暇利用については、すべての目的地や利用時間に合わせた便の設定は困難ですが、今後の利用状況を確認してまいります。 デマンド交通については、今後の公共交通のあり方の中で検討してまいります。 乗降時の安全確保については、バス事業者と共有し、利用者の状況に応じた丁寧な対応に努めてまいります。
6	【萩倉・星が丘線】 町屋敷地区は高齢者が増えており、今後、免許を返納する人も増えると思われるため、バスの運行は必要である。 また、町屋敷地区は町が居住を斡旋した場所でもあるため、便数を減らさないでほしい。 途中で乗り換えて役場、病院、買い物などに行くため利用していたが、そのバスがなくなるのは困る。	ご意見を踏まえ、萩倉・星が丘線については、パブリックコメント前の改正案を見直し、マイクロバスで全 10 便を運行することとしました。 現行ダイヤと比較すると 1 便減となりますが、パブリックコメント前の改正案からは便数を増やし、通勤や生活利用に配慮した運行となるよう見直しました。 改正後は、利用する便や乗り継ぎ方法が変わる場合がありますが、役場、病院、買い物などの利用に配慮した運行となるよう見直しました。 町屋敷地区については、引き続き萩倉・星が丘線により移動手段を確保できるよう努めてまいります。
7	【赤砂・東山田線】 赤砂・東山田線を廃止にしないでほしい。 ビッグ 1 やサンロード方面に行きたいが、歩いて行くことができない。 赤砂・東山田線を増便してほしい。 また、乗り継ぎがしづらい。	赤砂・東山田線については、ご意見を踏まえ、まちなか線にその機能を組み込む形で見直しました。これにより、赤砂・東山田方面から下諏訪駅、役場周辺、医療機関、商業施設方面への移動手段を確保できるよう見直しました。 増便については、車両・運転手の体制上、今回の改正では困難ですが、改正後の利用状況を確認してまいります。 乗り継ぎ方法が分かりにくい場合は、町窓口等で利用方法を案内してまいります。
8	イオンスタイル諏訪の開店に伴うダイヤ改正自体は理解できるが、減便を伴う見直しには賛成できない。 現行路線を維持したまま、停留所名の「イオン諏訪店横」を「イオンスタイル諏訪」へ名称変更するだけで対応できるのではないか。 萩倉、町屋敷方面からの直通便がなく利便性が低いということであれば、下諏訪駅での接続を考慮したダイヤ編成を検討すべきである。利用者の利便性を維持した上で見直しを進めてほしい。 また、下諏訪町地域公共交通計画では、コロナ後の利用者数増加を踏まえ、利用促進策としての増便が期待されているように見えるため、今回のダイヤ改正案との整合性に疑問を感じる。 今回のダイヤ改正でどの程度経費の削減が見込まれるのか、期待される効果や目標値を示してほしい。実施後には、利用状況や収支改善効果について検証結果を公表してほしい。 東山田地区から下諏訪駅までの所要時間が、現行ダイヤより長くなり、利便性が損なわれる。利用者数が少ないことを理由に統合すると、利便性の低下によりさらなる利用者減少を招くのではないか。 利用者数の減少を理由とした減便だけでなく、利用促進につながる方策も併せて検討すべきである。 また、JR 線やスワンバスとの接続が短い箇所があるため、接続状況を確認してほしい。 時刻表についても、経費削減を検討するのであれば、制作費の見直しの余地があると考える。	今回の改正は、停留所名の変更だけでなく、イオンスタイル諏訪への移動、下諏訪駅での乗り継ぎ、赤砂・東山田方面の移動手段、車両運用などを踏まえて見直したものです。 ご意見を踏まえ、萩倉・星が丘線については、現行ダイヤからは 1 便減となりますが、パブリックコメント前の改正案を見直し、マイクロバスで全 10 便を運行することとしました。 また、萩倉・星が丘線と他路線との接続につきましては、下諏訪駅や町中心部周辺で、あざみ号の他路線やスワンバス等との乗り継ぎが可能な限りしやすくなるよう、時刻を調整しました。 一方で、限られた車両・運転手により複数路線を運行していることや、各路線の運行時間との兼ね合いがあるため、すべての便で十分な接続時間を確保することは困難です。今後も利用状況を確認しながら、できる限り利用しやすいダイヤとなるよう検討してまいります。 下諏訪町地域公共交通計画では利用促進を図ることとしていますが、利用促進は必ずしも増便のみを意味するものではなく、経路や時刻、乗り継ぎ、広報周知の改善なども含むものと考えています。そのため、今回の改正は同計画の方向性と整合するものと考えています。 経費削減効果については、運行便数だけでなく、燃料費、人件費、車両維持費などの影響を受けるため、現時点で具体的な削減額を示すことは難しい状況です。改正後は、利用状況や運行実績を確認し、必要に応じて今後の見直しに活用してまいります。 東山田地区から下諏訪駅方面への移動については、ご意見を踏まえ、朝の下諏訪駅までの運行時間を見直しました。一方で、町内の周遊性を確保するため、便によっては所要時間が長くなる場合がありますが、町民の方や観光客の利用にも配慮し、利用促進につなげることを目的としたものです。経路変更や所要時間の変更により、ご不便をおかけする場合がありますが、ご理解をお願いいたします。 また、利用促進につながる周知方法や、時刻表の分かりやすさ、制作費についても、今後検討してまいります。

9	【萩倉・星が丘線】 第3便、第5便、第7便は、「大社通り四ツ角③」に停車しないと利便性が低下する。 また、第6便については、「西友前」から「イオンスタイル諏訪」を経由せずに下諏訪駅へ向かうが、第2便・第4便と同様に「イオンスタイル諏訪」を経由すると、買い物後に第7便で効率よく帰宅できる。 【まちなか線】 第1便、第3便、第5便、第7便は、「大社通り四ツ角③」に停車しないと利便性が低下する。 また、「万治の石仏」停留所は萩倉・星が丘線の第1便のみの停車となるため、「諏訪大社春宮前」を「諏訪大社春宮前（万治の石仏入口）」と表記することで、観光客のバス利用促進につながるのではないか。 まちなか線を活用した観光周遊モデルコースを作成し、町ホームページやパンフレットで周知すれば、観光客のバス利用促進につながる。 「ゆたん歩[°]」を経由すると利便性が向上する。 【高木・高浜線】 第2便、第4便、第6便は、「大社通り四ツ角③」に停車しないと利便性が低下する。	各路線の大社通り四ツ角への停車については、ご意見を踏まえ、運行方向に応じて停車できるよう見直しました。 萩倉・星が丘線のイオンスタイル諏訪経由については、買い物や施設利用に配慮し、イオンスタイル諏訪を経由する便を設定するよう見直しました。 万治の石仏については、萩倉・星が丘線、まちなか線で経由するよう見直しました。停留所名や案内表記については、今後も分かりやすい周知方法を検討してまいります。 まちなか線を活用した観光周遊モデルコースについては、関係部署と連携し、周知方法を検討してまいります。 「ゆたん歩[°]」については、高木・高浜線で経由することとしており、まちなか線で経由した場合は全体の所要時間が長くなり、他の停留所を利用される方への影響も生じることから、今回の改正では見送ることとしました。今後も利用状況を確認しながら、必要に応じて経路の見直しを検討してまいります。
10	【赤砂・東山田線】 赤砂・東山田線の廃止により、社東町の国道上から「あざみクリニック」や「諏訪共立病院」への通院方法がなくなってしまう。 東山田地区に住む方からも同様の話を聞いている。高齢者の中には乗り継ぎが難しく苦勞される方もいるため、何とか検討してほしい。	赤砂・東山田方面から医療機関への通院手段については、ご意見を踏まえ、まちなか線にその機能を組み込む形で見直しました。まちなか線では、あざみクリニック前、諏訪共立病院前、信濃医療福祉センターなどを経由し、通院に利用できる経路となるよう見直しました。 利用する便や乗り継ぎ方法が変わる場合があるため、分かりやすい案内に努めてまいります。
11	前回2月のダイヤ改正で、通勤に利用していた高木・高浜線第1便（6:59 発）がなくなってしまったので、ダイヤに入れてほしい。	高木・高浜線の早朝便につきましては、前回のダイヤ改正において、他路線との車両運用等を踏まえ、運行内容を見直しました。 今回いただいたご意見を踏まえ、改めて検討しましたが、他路線との車両運用や運転手の体制上、早朝便の設定は困難であるため、今回の改正では見送ることとしました。 ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。
12	萩倉・星が丘線は、北小学校の児童が下校時に利用している。変則授業や短縮授業の際は14時台、通常授業で6時限までである場合は16時台のバスが必要となるため、現行ダイヤからなくさないでほしい。 （複数名の方からの意見）	萩倉・星が丘線については、ご意見を踏まえ、北小学校児童の下校利用に配慮し、14時台及び16時台に利用できる便を設定しました。 一方で、他路線との車両運用の都合上、16時台の便については、現行ダイヤより到着時刻が遅くなります。ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。 今後も、学校の授業時間や利用状況を確認しながら、通学・下校利用に配慮してまいります。